

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合

(第848回 非公開会合)

1. 日 時 令和2年3月13日(金) 10:27~11:23

2. 場 所 原子力規制委員会 原子力規制庁内会議室

3. 出席者

原子力規制委員会 石渡委員

原子力規制庁 山形緊急事態対策監、大浅田安全規制管理官、小山田安全規制調整官、内藤安全規制調整官、名倉安全管理調査官 他6名

関西電力株式会社 担当者8名

4. 議 題

(1) 関西電力(株)美浜発電所3号炉の特定重大事故等対処施設に係る基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について

(2) その他

5. 配付資料

資料1-1 美浜発電所3号炉
特定重大事故等対処施設の
基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について—コメント回答—
(非公開)

資料1-2 美浜発電所3号炉
特定重大事故等対処施設に係る
基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について—資料集—
(非公開)

6. 議事概要

(1) 関西電力(株)から、美浜発電所3号炉の特定重大事故等対処施設に係る基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価に関して、第812回審査会合(令和元年12月13日)において石渡委員及び原子力規制庁から詳細な説明を求めた、建屋直下における地質断面図(岩級区分)の妥当性、地盤としたMMR(コンクリート)の規則・解釈における各条文に対する位置づけ、提案された解析モデルを用いることの妥当性、地下水位設定の考え方、並びに主要な破砕帯以外の小規模の破砕部を弱面として解析モデルに反映

しないことの妥当性について、説明があった。

- (2) 石渡委員及び原子力規制庁は、特定重大事故等対処施設に係る基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価に関して、おおむね妥当な検討がなされたものと評価した。ただし、ボーリング調査で確認された熱水変質部の分布等、資料の充実化を求めた。

以上